

解答

一				
問一	①	定義		
問二	(ア)			
問三	(ウ)			
問四	(イ)			
問五	(エ)			
問六	(エ)			
問七	(ウ)			
問八	④ (エ)			
問九	(イ)			
問十	(イ)・(カ)			
		②	観察	
			③	基準
			④	修復
			⑤	興味

二

問一	a 不安	b 後悔				
問二	a (カ)	b (ケ)	c (エ)	d (イ)		
問三	③ (イ)	⑪ (ア)	⑫ (ウ)			
問四	(ア)					
問五	A (イ)	B (オ)				
問六	C (エ)	D (オ)	E (ア)			
問七	(イ)					
問八	(ウ)					
問九	a (オ)	b (ウ)	c (ク)	d (ア)		
問十	(エ)					
問十一	(ア)					
問十二	がってんしょうたくん					
問十三	(エ)					
問十四	a (カ)	b (イ)	c (ウ)	d (ケ)	e (コ)	f (オ)

解説

二

一

問九

筆者は、人間は『心』や『意識』を持つとまさに信じている、「自分の身体をちゃんと動かしていると信じている」、「人の可能性を信じて人とかかわるようにしたい」と思い、「日々互いに様々に関係し合いながら、助け合いながら生きている」と、「信じる」ことで人間社会は構成されていることが述べられています。

問六

C 「私」が「ずっと寝ていた」のは「先週の木曜日のことがあったから」とあり、少し後でしんちゃんが「お前のこと、おぼれさせちゃってさ。」「どうだった、死にそうになった時って」と言っていることから、二人が池でおぼれたことがわかります。

D おたま池の中州には古い杉の木が倒れ、橋のようにかかっており、その木を渡ろうとして、二人が落ちてしまったことがわかります。

E 「退院して、家に帰ってからです。私と同じ病院に運ばれたとき、しんちゃんはもう息をしていなかったそうです」とあることから、しんちゃんが先週の土曜日に死んだことを知ったとわかります。